

明治大学 2020 年度 【春期】 国際化サポート 海外留学奨励金 オンラインプログラム報告書

下記のとおり、報告いたします。

| | |
|---|------------------------|
| 研修名 | エンデラン大学 3 週間オンラインプログラム |
| 所 属 | 農学部 農学科 3 年 |
| プログラムで学んだ内容およびご自身の学習成果について記載してください。(250~300 字程度) | |
| <p>本プログラムは、アクセントや発音のレッスンを 1 日に 1 時間、身近な話題について話すレッスンを 1 日に 2 時間、2 時間のグルプレッソンの計 5 時間で構成されています。身近な話題について話すレッスンでは単に「好きなスポーツはなんですか」というような質問ではなく、例えば「どんな人とそのスポーツをしたい？それはどうして？」とか「どこへ旅行に行きたい？誰と行きたい？どうして？」というように、どんどんと深堀をしていきます。頭の中では「家族と箱根へ旅行に行きたい。それは～だから」というのがすぐに出来上がりますが、これを英語にするのは案外難しいです。日本語ですら考えないような質問もありました。しかしこのようなレッスンを通して、当初よりもはるかに英語がすぐに出てくるようになったと実感しています。</p> | |
| バーチャルアクティビティへの参加等、授業時間以外の活動について、どのような経験を得ることができたか記載してください。(250~300 字程度) | |
| <p>バーチャルアクティビティのような活動は一切ありませんでした。しかし初回のオリエンテーションでは、キャンパスを撮影したものや、フィリピンについて写真を使って説明するといったことがありました。実際に様子をイメージする助けには幾らかなったと思います。それよりも、授業時間内で学生と交流する時間が週に 1~2 回あり、ここでは食べ物や観光名所、レジャーなどの説明を受けました。これは非常に楽しく、「現地へいきたかったなあ」と何回思ったか分かりません。いつかフィリピンに行った際には、必ず役に立つのではないのでしょうか。「この国旗が意味するのは、赤い色が～」とうんちくを披露する日が来るかもしれません</p> | |
| オンラインプログラムに参加して感じたメリット・デメリットについて記載してください。(250~300 字程度) | |
| <p>メリットは何より安価であることです。また私は現在就職活動中ですが、これもオンラインだからできたことです。現在アルバイトはしていませんが、終わった後にそのような活動をすることもできるはずでです。デメリットは現地の雰囲気や味わえないこと、対面で話せないこと、明治大学の学生との交流が希薄であることです。本来であれば、国内をいくつか周り、現地の食べ物を食べ、学生と交流することができたはずでです。何より現地の空気を味わうということがあります。それができないのがオンラインでした。オンライン留学というのは今後も選択肢の一つとしてはあるでしょうが、この点において「安価である」というメリットを、デメリットが大きく上回るように思います。</p> | |
| 今後の展望・目標について、プログラム参加前と後での変化も含め記載してください。(250~300 字程度) | |
| <p>参加当初は「自分はスピーキングが苦手である」という考えでした。しかし今感じることは、スピーキング能力はもちろんであるが、リスニング力がまだまだ不十分であるということです。これはネイティブの人と話さなければ気づけないのではないのでしょうか。というのも、中学校、高校、大学と、基本的には「日本人の英語」を話す日本人が先生だからです。プログラム期間中には、先生から「英語の音声かつ英語の字幕で映画を見ること」を大きく勧められました。英語特有の表現も学ぶことができます。これは今後は是非やっていきたいと思います。最後に早速習った表現を使って、このレポートを締めます。 “There’ no time like the present. Seize the day.</p> | |
| <p>【注意事項】提出された報告書は、次年度以降の短期海外研修の募集および未来サポーター募金事業の広報を目的に、原則として当原稿をそのまま外部に公開いたします（学生番号、性別、生年月日、連絡先は公開しません）。</p> | |